

2024年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
外国語	英語コミュニケーションⅢb	2	CⅢ701	東京書籍	All Aboard! English communication Ⅲ

<p>目標 【学習指導要領】</p>	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、5つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 聞くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや使用される語句や文、情報量などにおいて支援をほとんど活用しなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(2) 読むこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量において、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて支援をほとんど活用しなくても文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(3) 話すこと[やりとり]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて情報や考え、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(4) 話すこと[発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(5) 書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段階から成る文章で論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて情報や考え、気持ちなどを複数の段階から成る文章で論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p>
<p>目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】</p>	<p>・英語コミュニケーションⅡから700～950語の新語を加え、不定詞、関係代名詞、関係副詞、接続詞、助動詞、前置詞、動詞の時制及び相など、仮定法など文法事項の中から5つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものを取り扱う。</p> <p>・日常的にはニュース、新聞記事、物語、学校内外の活動、地域社会などを題材として、社会的にはニュース、論証文、記録文などを通して、内容・情報を読みとり4技能(5領域)をバランスよく適宜に取り扱い、学習意欲を高めて行く。</p>
<p>評価の観点</p>	<p>【知識・技能】・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手を配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)	面接指導(単位時間)			評価方法
				回	時期	内容	時間	
後期（前期）	10月 (4月)	Lesson6 The Mystery of the Teracotta Warriors. [題材内容]古代中国を統一した秦の始皇帝の業績と彼が残した兵馬俑について学習する。 [言語材料]関係代名詞(who, which)の非制限用法 [言語活動]訪れてみたい史跡について、英語でまとまりのある文章を書くことができる。	訪れてみたい史跡について、英語でまとまりのある文章を書くことができる。	第7回	10月 (4月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
		10月 (4月)	メディア学習により免除		0	レポート 視聴報告書		
		Lesson7 Green Challenges [題材内容]地球温暖化と再生可能エネルギーについての発表を通して、エネルギー問題とその解決策について学習する。 [言語材料]比較表現 [言語活動]再生可能エネルギーについて、国や地域を比較して英語でプレゼンテーションできる。	再生可能エネルギーについて、国や地域を比較して英語でプレゼンテーションをすることができる。	第8回	10月 (4月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	11月 (5月)	Lesson8 Witnesses of War [題材内容]原爆投下により被爆した広島路面電車とその運転手だった女子生徒の経験を通して平和の大切さについて考える。 [言語材料]名詞を後ろから説明する分詞 [言語活動]経験したことや考えたことについて、英語でまとまりのある文章を書くことができる。	経験したことや考えたことについて、英語でまとまりのある文章で書くことができる。	第9回	11月 (5月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
		Lesson9 The wonders of Lighting [題材内容]海外の高校生に向けたオンラインでの発表を通して、雷の発生のしくみや避難方法、地球温暖化との関係などについて学習する。 [言語材料] 仮定法過去 [言語活動] 電気の有効活用について、英語でミニディベートをすることができる。	電気の有効活用について、英語でミニディベートをすることができる。	第10回	11月 (5月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	12月 (6月)	Lesson10 Kathering's Long Journey [題材内容]人種差別の壁を超えて、アメリカの宇宙開発に貢献したアフリカ系アメリカ人数学者、キャサリン・ジョンソンと差別の問題について学習する。 [言語材料]関係代名詞whose [言語活動]社会に影響を与えた人物について英語で、エッセイを書くことができる。	社会に影響を与えた人物について、英語でエッセイを書くことができる。	第11回	12月 (6月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	12月 (7月)	Reading 2 Table for Two [題材内容]ディケンズの本に導かれたような、若い男女の2度の巡り合いの物語を読んで、各場面の状況や登場人物の心情を読み取る。 [言語活動]各場面の状況や登場人物の心情を考えたり想像したりしながら音読する。	内容を理解し、各場面での登場人物の心情をとらえ、音読ができる。	第12回	12月 (7月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	1月 (9月)	教科書Lesson6～9, Reading2より ◇関係代名詞◇比較表現 ◇名詞を後ろから説明する分詞 ◇仮定法過去 上記文法の課題を復習しながら、語彙を増やし5技能を高める。	多分野に於いて社会的関心を持ち、語彙を増やし英語の表現力をつけ、国際的な感覚を身に付ける。	第7回～12回	スクーリング 10月～12月 (6月～7月)	各Lessonの課題を認識し、自分の考えを表現できる。	4	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	1月 (9月)	単位認定試験						考査
面接指導(単位時間) 合計							4	